

第112回
全国図書館大会石川大会
図書館が希望をつなぐ
～学びと再生の地・石川から～

令和8年 **11月19日(木)・20日(金)**

会 場 [全体会] 石川県立音楽堂コンサートホール
 [分科会] 石川県文教会館、金沢市文化ホール

大会ホームページ

<https://112th-library.com/>



- 主 催** 公益社団法人日本図書館協会、石川県、石川県教育委員会、金沢市、
金沢市教育委員会、石川県図書館協会、石川県学校図書館協議会、
石川県大学図書館協議会
- 共 催** 東海北陸地区公共図書館協議会、富山県図書館協会、福井県図書館協会、
愛知図書館協会、岐阜県公共図書館協議会、三重県公共図書館協議会、
北陸地区国立大学連合図書館系専門委員会
- 後 援** 文部科学省、国立国会図書館、全国公共図書館協議会、国立大学図書館協会、
公立大学図書館協会、私立大学図書館協会、専門図書館協議会、
一般社団法人日本書籍出版協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構、
図書館友の会全国連絡会

問合せ先

第112回全国図書館大会石川大会実行委員会事務局

〒920-0942 石川県金沢市小立野2丁目43番1号 石川県立図書館内

TEL：076-223-9565（代表） FAX：076-223-9566 E-mail：promotion@pref.ishikawa.lg.jp

第 112 回全国図書館大会石川大会会場地図



●石川県立音楽堂
金沢駅兼六園口(東口)から徒歩 1 分

●石川県文教会館
バス 金沢駅より香林坊方面行のバスをご利用ください
南町・尾山神社下車、徒歩 2 分

●金沢市文化ホール
バス 金沢駅より香林坊方面行のバスをご利用ください
南町・尾山神社下車、徒歩 3 分

開催にあたって

霊峰白山を仰ぎ、日本海に面した石川県は、豊かな自然と文化の土地です。とりわけ江戸時代の加賀藩は、「加賀は天下の書府」と称されるほど学問を重んじ、藩主・前田家のもとで人材育成と知の蓄積に力を注ぎました。新井白石がその蔵書の充実ぶりに驚嘆したように、金沢には早くから文庫や書院が整えられ、教育と文化の中心としての役割を果たしてきました。

教育、学術とともに伝統文化を重んずる気質は今日まで受け継がれており、石川県立図書館をはじめとする県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館は、それぞれが教育、学術、文化とともに人々の生活を支える知的基盤となり、現代の「書府」として多くの方々に親しまれています。

一方、2024年元日の能登半島地震は、地域に深い傷跡を残しました。今、私たちは知識と対話、そして心のよりどころとしての図書館の力を、あらためて実感しています。図書館があることで、そこに集う人々が希望を見出し、地域の再生と創造へと歩みを進めることができる——その確信こそが、私たちがこの大会に込める願いです。

石川の歴史が育んだ「学びの力」と、被災地から立ち上がる「再生の力」。それらをつなぐ存在として、図書館はこれからも人と地域を支えていく。このような思いを、「図書館が希望をつなぐ ～学びと再生の地・石川から～」という大会テーマに託しました。

石川県での開催は、1931年（昭和6年）の第25回、1967年（昭和42年）の第53回以来3回目の開催になります。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日程

日時	11:45	12:30	15:30	15:40	17:10	18:30	20:30
11/19 (木)		受付	アトラクション 開会式・全体会		記念講演		懇親交流会
	展示会：石川県立音楽堂において 11:45～18:00 に実施						
日時	9:00	9:30	12:30	13:40	16:40	17:30	19:00
11/20 (金)	受付		分科会【午前】	昼食 受付	分科会【午後】		日図協のつどい
	展示会：石川県文教会館及び金沢市文化ホールにおいて 9:00～17:30 に実施						
日時							
11/21 (土)	県内図書館見学（受け入れ可能館・希望者）						

第1日（11月19日）

- ・開会式・表彰式・全体会（アトラクション、主催者挨拶、来賓挨拶、図書館建築賞表彰式、認定司書交付式、文部科学省 政策報告、日本図書館協会 基調報告、日本図書館協会 特別報告、記念講演）、パネル展示等
【会場：石川県立音楽堂コンサートホール】
- ・懇親交流会
【会場：ホテル日航金沢】

第2日（20日）

- ・第1分科会～第10分科会、協賛展示会
※会場・内容は「分科会一覧・協賛展示会」でご確認ください。
- ・日本図書館協会のつどい
※日本図書館協会「全国図書館大会」ページでご案内します。
https://www.jla.or.jp/national_library_conference/



開催形式について

今大会は全て対面開催で行います。

分科会一覧・協賛展示会

分 科 会		開催時間	会 場
第1分科会	公共図書館	9:30～12:30	石川県文教会館
第2分科会	大学・短大・高専図書館	13:40～16:40	石川県文教会館
第3分科会	学校図書館	13:40～16:40	石川県文教会館
第4分科会	児童サービス	9:30～12:30	石川県文教会館
第5分科会	みんなで考える図書館の自由	13:40～16:40	金沢市文化ホール
第6分科会	インクルーシブな図書館	13:40～16:40	金沢市文化ホール
第7分科会	障害者サービス	9:30～12:30	金沢市文化ホール
第8分科会	非正規雇用職員	9:30～12:30	金沢市文化ホール
第9分科会	情報資源の発掘と図書館連携	13:40～16:40	金沢市文化ホール
第10分科会	デジタルアーカイブと図書館	9:30～12:30	金沢市文化ホール
協 賛 展 示 会		9:00～17:30	石川県文教会館 金沢市文化ホール

※ 受付は各分科会開始時刻の30分前から始めます

昼食に関するご案内

弁当1, 200円（税込・お茶付）【第2日のみ、参加申込時にお申込みください】

特別報告

【演題】

「災害からの復興と備え」

被災から一歩ふみ出す手助けとなる図書館、経験と知恵を共有する

近年相次ぐ自然災害の中で、図書館が地域の記憶と情報を守り、復興を支える役割は一層重要となっています。日本図書館協会では、能登半島地震・豪雨における被災状況と支援の実態、災害資料の可視化・共有に関する最新研究、自然災害時の情報収集・発信や被災館支援の取り組み、さらに災害に強い図書館建築の考え方を取り上げ、図書館が災害に向き合うための総合的な視点を全国図書館大会石川大会において共有することとしました。現場の経験、研究知見、制度的支援、建築的備えを一体的に学ぶことで、全国の図書館が今後の災害に備える力を高める機会とします。

鎌倉 幸子 氏（特定非営利活動法人エファジャパン）

「届ける、つなぐ、集う ― 災害時における図書館とパートナーシップ」

渡辺 英徳 氏（東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授）

「歴史を語るデジタルアーカイブ」

末次 健太郎 氏（図書館災害対策委員会 委員長）

「日本図書館協会の自然災害時の情報収集、情報発信、被災館への支援などについて」

柳瀬 寛夫 氏（図書館施設委員会 委員）

「自然災害に備えた図書館建築について」

記念講演

【演題】「前田家三代を描いて」

直木賞受賞作『等伯』をはじめ、数多くの歴史小説を世に送り出してこられた安部龍太郎氏をお招きします。前田利家、利長、利常の前田家三代を描き切った著作『銀嶺のかなた』を取り上げ、作品をどのような目的で書き上げたのか、その取材や執筆の過程でどのような発見があったのか、そして作家としてどこまで到達できたと感じているのかについて語っていただきます。

講 師：安部 龍太郎（あべ りゅうたろう）氏

【プロフィール】

1955年福岡県八女市（旧・黒木町）生まれ。久留米工業高等専門学校機械工学科卒業。東京都大田区役所に就職、後に図書館に勤める。その間に数々の新人賞に応募し「師直の恋」で佳作となる。1990年に発表した「血の日本史」でデビュー。この作品で注目を集め「隆慶一郎が最後に会いたかった男」という伝説がうまれた。作品に「関ヶ原連判状」「信長燃ゆ」「等伯」「銀嶺のかなた」など多数。



第 1 分科会 公共図書館分科会

テーマ：市民と図書館の未来プロジェクト～問い直し・語り合い・共につくる～

1970 年代からの公共図書館発展期を経て、低成長時代での少子高齢化や価値観の多様化、インターネットや生成 AI の出現等、図書館を取り巻く環境は激変しています。

こうした時代における図書館のあり方について、それぞれのお立場から、「市民と図書館の未来プロジェクト」への期待とヒントとなるアクションを提言ください。

【プロジェクト報告】

嶋田 学（京都橘大学文学部歴史遺産学科教授）

『市民と図書館の未来プロジェクト』がめざすもの」

【助言】

田村 俊作（慶應義塾大学名誉教授、石川県立図書館長）

『市民の図書館』から『市民と図書館』へ、そして未来へ：視点の転換が意味するもの」

【事例報告】

堂ヶ口 真奈（輪島市立図書館）

「演題未定」

【事例報告】

高橋 憲一郎（小松市未来型図書館づくり推進チーム）

『共に創り、共に育てる』未来型図書館づくり～対話と実践（リビングラボ）からひらく次世代の都市づくり～」

【事例報告】

小澤 多美子（県立長野図書館・市民と図書館の未来プロジェクト）

『市民と図書館の未来プロジェクト』のこれまでとこれから」

【ディスカッション】

第2分科会 大学・短大・高専図書館

テーマ：挑戦する空間づくり：持ち帰り、考え、実践する

近年、デジタル化や生成 AI の急速な進展を背景に社会構造は大きな変容を遂げつつあり、特に若年層や高等教育機関を取り巻く環境は劇的に変化している。このような状況下で、大学・短期大学・高等専門学校の図書館は、限られた予算と人的資源という制約の中で、「場」「設備」「サービス」という本質的課題にいかに対応すべきかが問われている。

本分科会では、図書館の空間デザインやサードプレイスとしての役割を再考し、未来に向けたビジョンを共有することを目的とし、参加者は、現実的な制約を踏まえつつ、どのようなサービスを創出し、自館における空間づくりやサービス改善に結び付けるかについて議論を深め、実践への指針を得る場とする。

【基調講演】

小川 玲子（イシス編集学校 師範）

「ありえなさに開かれた大学図書館へ」

【事例発表】

会田 俊輔（神奈川大学附属図書館 図書館事務部図書課長）

「図書館リニューアルから4年、振り返りとこれから」

【事例発表】

林 和宏（富山大学附属図書館）

「演題未定」

【事例発表】

未 定（名古屋大学附属図書館）

「図書館を「外」にひらく：学内施設を活用した新たな場づくりの試み」

【事例発表】

野田 晶子（金沢大学附属図書館）

「多様化するニーズに応える空間づくり：自然科学系図書館の試み」

【質疑応答】

第3分科会 学校図書館

テーマ：未来をみつめ、豊かな学びを創造する学校図書館

学校図書館には3つの機能がある。児童生徒の想像力を培い、学習に対する興味・関心等と呼び起こし、豊かな心や人間性、創造力等を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能。児童生徒の自主的・自発的かつ協働的な学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」としての機能。児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能である。これらの機能をつなぐ児童生徒の豊かな学びを創造する様々な実践の報告に加え、震災からの再生についての報告を受けることで、学校図書館が果たす役割について、児童生徒の未来を思い、深く考える場としたい。

第1会場

【事例報告】

- ①瀧田 綾子（かほく市立金津小学校）
「学習情報指導に関して」（仮題）
- ②瀧本 アンナ（かほく市立高松中学校）
「学習情報指導に関して」（仮題）
- ③小田原 誠（大聖寺高等学校）
「学習情報指導に関して」（仮題）
- ④濱田 雅大（輪島高等学校）
「学習情報指導に関して」（仮題）
- ⑤道端 し乃（能登町立鶴川小学校）・山花 永幸（輪島市立門前学園）・
寺下 祐樹（珠洲市立和歌山小学校）
「復興・再生に関して」（仮題）

第2会場

【事例報告】

- ①石田 恵美子（七尾市立天神山小学校）・山本 久美子（七尾市立山王小学校）
「読書指導に関して」（仮題）
- ②岡田涼子（中能登町立中能登中学校）
「読書指導に関して」（仮題）
- ③谷口 暖人（志賀高等学校）・中村 晃大（七尾高等学校）
「読書指導に関して」（仮題）
- ④西門 綾子（能登町立能都中学校）・手崎 萌由（輪島市立輪島中学校）・
脇田 彩加（珠洲市立緑丘中学校）
「復興・再生に関して」（仮題）

第4分科会 児童サービス

テーマ：絵本を伝える ～ 希望のバトンを子どもたちへ ～

子どもの読書活動で重要な役割を果たす絵本に焦点を当て、「絵本を伝える」をテーマに、第一部は第一線で活躍する金沢市在住の絵本作家と朗読家から絵本に託す思い等を対談形式の講演できく。また、第二部では、小松市立空とこども絵本館の元館長から、日本の「絵本の父」故松居直氏との交流や、つくり手の思いを読者に手渡す図書館の役割と取組をきく。最後に、第三部で全登壇者によるトークセッションを行い、多様な立場からの意見交換を通じて、絵本の可能性とこれからの児童サービスを分科会参加者とともに考え、学びと再生の地・石川で児童サービスへの理解を深めるとともに、図書館が子どもたちへ希望をつなぐ存在であることを再確認する。

【基調講演】

(対談) 鎌田 歩 (絵本作家 (著作「巨石運搬!」ほか))
樋口 匡子 (絵本作家 (著作「おじばさん」ほか))
戸丸 彰子 (朗読家、「朗読ユニット音がたり」代表)
「つくる × つたえる ～ 表現者と絵本 ～」(仮題)

【基調報告】

尾木澤 響子 (小松市立空とこども絵本館 元館長)
「想いを手渡す ～ 図書館と絵本 ～」(仮題)

【トークセッション】

鎌田 歩、樋口 匡子、戸丸 彰子、尾木澤 響子

第5分科会 「みんなで考える図書館の自由」

テーマ：図書館のこと、話しに来ませんか？

－ 暮らす人・学ぶ人・働く人、みんなで楽しく図書館会議

「図書館にはギャンブルの本なんていないよね」と言われたら、どう答えますか？

誰もが自由で平等に情報にアクセスし、個人が尊重される社会であるためには、私たち一人ひとりが「図書館の自由」について考えることが大切です。

この分科会では地域に「暮らす人・学ぶ人・働く人」という3つの視点から「図書館の自由」を見つめ直します。地域の人は何を期待しているのか、大学ではどう教えているのか、現場ではどんな悩みや工夫があるのか。それぞれの話をきっかけに「図書館ってこんなところであってほしいよね」という思いを気軽に語り合ってみませんか？ 開催地・石川県のみなさんと一緒に図書館のことを考える時間にしたいと思います。

基調セッション

【講演】

草谷 桂子（静岡図書館友の会／児童文学作家）

「住民から発信する『図書館の自由』」

【講演】

坂下 直子（神戸女子大学教育学部教育学科 特任教授）

「大学で「図書館の自由」をどのように教えているか 学生はどのように理解しているか」

【講演】

福森 千明（金沢市立金沢海みらい図書館）

「図書館の自由について考える － 児童サービスでの経験を中心に －

交流セッション

コーディネート：岡田 大輔（尚絅大学現代文化学部 准教授）ほか

参加者全員が小グループに分かれて、グループトークを行います。

第6分科会 「インクルーシブな図書館」

テーマ：図書館からはじまるインクルーシブな社会

多様な文化的背景を持つ人々や高齢者の方など、障害のあるなしにかかわらず広く市民のみなさまに、バリアフリー図書を始めとする読書におけるバリアフリースーツールを知ってもらい、自分に合った読書スタイルを見つけてもらうために、図書館は何をしていけばいいのか？

この分科会では、令和7年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者の内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞した「りんごプロジェクト（NPO 法人ピープルデザイン研究所）」の活動を中心に、バリアフリー図書の関係者、図書館関係者、さらには図書館利用者のみなさまが集い、「図書館（りんごの棚）からはじまるインクルーシブな社会」について話し合える機会としたい。

【基調講演】

佐藤 聖一

「これからの社会のあり方、福祉から社会モデルへ ―図書館はその先進事例」

【バリアフリー図書の紹介と体験会】

りんごプロジェクトメンバー

【実践報告】

佐伯 美華

「バリアフリー図書・りんごの棚を活用した横浜市や都立学校での取り組み」

【ワークショップ】

古市 理代

「読書バリアフリーに向けて あなたの図書館や学校で何ができるのか」

【質疑応答、まとめ】

第7分科会 「障害者サービス」

テーマ：障害者サービス 読書バリアフリーを進めるために ～館種を超えての取り組み～

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(通称：読書バリアフリー法)が施行され7年になる。本分科会ではまず、JLA 障害者サービス委員会が障害者差別解消法や読書バリアフリーを推進するために作成した三文書の改訂の概要について紹介する。

その後、大学図書館からは筑波技術大学、公共図書館からは石川県立図書館、学校図書館からは金沢大学附属特別支援学校の読書バリアフリーの取り組み事例を紹介し、館種を超えた連携について参加者とともに検討する。

【講演】

杉田 正幸 (JLA 障害者サービス委員会委員長、国立国会図書館) (予定)

「読書バリアフリーとこの1年 ～JLA 障害者サービス委員会の三文書改訂を中心に」(仮)

【事例報告】

青木 千帆子 (筑波技術大学読書バリアフリーコンソーシアムテクノロジーハブ事務局)

「みかん箱プロジェクトを通じた読書支援機器貸出と地域連携に関する報告」

【事例報告】

原 有樹 (石川県立図書館利用推進課協力連携グループ 司書主任)

北 翔平 (金沢大学附属特別支援学校 教諭)

「学校と公共図書館の連携による多様な児童生徒の読書活動の充実」

【討議及び質疑】

講師及び参加者による

第8分科会 「非正規雇用職員」

テーマ：多様な館種の非正規雇用職員（その実情と問題点）

公共図書館の約8割、学校図書館の約9割、大学図書館の約7割など様々な種類の図書館で働く職員の大半が非正規雇用職員です。そのため非正規雇用職員は、図書館界全体の問題として考えるべき視点が必要です。不安定雇用、低い労働条件など共通するもののほか、それぞれ館種ごとに様々な問題が生じています。昨年までの分科会では公共図書館、学校図書館の非正規雇用職員についてテーマとしてきましたが、今回は新たに大学図書館についても取り上げます。日本図書館協会非正規雇用職員委員会が行った大学職員調査の報告を含め、実際に働いている非正規雇用職員の報告を通してその実情を探り、問題点と解決策を探ります。

【基調報告】

小杉 亮（日本図書館非正規雇用職員に関する委員会委員長）
「図書館非正規雇用の現状状況（総括）」

【事例報告】

平中 和司（大桑村図書館長）
「公共図書館の現場から」

【事例報告】

高橋 恵美子（日本図書館協会学校図書館部会）
「学校図書館の現場から」

【事例報告】

西川 啓子（水戸市立見和図書館）
「大学図書館非正規雇用職員調査報告」

【事例報告】

野村 健（司書・元大学図書館非正規雇用職員）
「大学図書館の現場から」

第9分科会 「情報資源の発掘と図書館連携」

テーマ：地域の過去を知り、現代・未来に託す図書館資料の役割と連携を考える

情報資源を発見・選択・保存し、未来に託すことは図書館のミッションである。専門的文献だけでなく、地域の要である公立図書館においても、地域文献の発掘や保存は、図書館の特色を出すための手法でもある（石川県では、文献索引の先駆でもある武蔵規一郎氏の功績が有名）。

本分科会では、金沢に根を張り地域や日本国内での文献発掘や索引作成を進めている金沢文圃閣と石川県古書籍商組合から、金沢における文学活動概略や文献発掘、索引作成についての知識・技術を伝授頂きつつ、小林昌樹氏（近代出版研究編集長、元NDL職員）からその実際を報告いただく。さらに、戦後の図書館史に埋もれている全日本図書館員組合について、資料の入手経緯も含めて、渡辺志津子氏（埼玉大学）から報告いただく。地域文学館や文芸館と図書館との連携についても検討できればと考えている。

【事例報告】

篠田 直隆（金沢古書籍商組合・近八書房）
「石川県における古書籍店の現状と活動（仮）」

【事例報告】

渡辺 志津子（埼玉大学経済学部）
「時代に埋もれた全日本図書館員組合資料の有効化」

【事例報告】

嶋田 亜砂子（室生犀星記念館）
「石川県における関係者資料等の重要性（仮）」

【パネルディスカッション】

篠田 直隆（金沢古書籍商組合・近八書房）
渡辺 志津子（埼玉大学経済学部）
嶋田 亜砂子（室生犀星記念館）
小林 昌樹（近代出版研究所）
題経 志吉（金沢文圃閣）
深水 浩司（コーディネーター：大妻女子大学）

第10分科会 「デジタルアーカイブと図書館」

テーマ：デジタルアーカイブと図書館 － 創る、伝える、使う、つながる －

本分科会は、デジタルアーカイブの利用の取り組みなど、異なる視点からデジタルアーカイブについて議論し、理解を深める機会を提供することを目的とする。地域やいろいろな領域の文化的・歴史的資源を集めてデジタルアーカイブを創りだし、デジタルアーカイブを介して文化的・歴史的なコンテンツを伝える視点、デジタルアーカイブを利用して価値あるコンテンツについて知り、学ぶ視点、そして時空間を越えて多くの人とコミュニティがつながる視点からデジタルアーカイブについて考えてみたい。こうした議論を通じ、デジタルアーカイブを図書館のサービスの中に組み入れ、サービスを進化させていくことを考える機会としたい。

【講師・事例発表者及び演題】（※演題は仮題を含む）

大井 将生（同志社大学文化情報学部准教授）

「学校での利用について 一例を含めて」

細井 浩一（ZEN 大学知能情報社会学部 教授）

「地域アーカイブの可能性と陥穽～「石川新情報書府」を事例として

森 いづみ（県立長野図書館長）

「地域で生きるデジタルアーカイブを目指して －「信州デジタルコモンズ」の取組

渡邊 英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

「歴史を語るデジタルアーカイブ」

杉本 重雄（筑波大学名誉教授）

「モデレーター」

第112回全国図書館大会石川大会 お申込みのご案内

お申し込みの流れ【大会参加、懇親交流会、弁当、宿泊】

大会参加等 お申込み

1

受付開始日 2026年8月4日(火) 9:00

申込方法 参加登録Webサイトにてお申込みください。

URL <https://va.apollon.nta.co.jp/112th-library/>

変更・取消が生じた際も、参加登録Webサイトにてご修正ください。

変更・取消期限後に変更・取消が生じた場合は、必ず「第112回全国図書館大会石川大会」デスクまでメールまたはFAXにてご連絡ください。

間違い防止のためにお電話での変更はお受けいたしかねますので、予めご了承ください。（連絡先は最終頁をご参照ください）

【申込み期限・変更期限】 2026年10月9日（金）

代金のお支払

2

支払方法 参加登録Webサイトにてお手続きください。

○クレジットカード決済

○銀行振込 ※振込手数料はお客様にてご負担ください。

ご請求書はお申込み完了後、参加登録Webサイトで発行が可能です。

お支払い完了後、参加登録Webサイトで領収証の発行が可能となります。

全体会・分科会の参加費は、大会運営の都合上、ご入金後の変更・取消に伴うご返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

旅行代金（宿泊代金）、懇親交流会費、お弁当料金は、旅行開始前の場合、ご予約解除の翌日から起算して7日以内にご返金手続きをいたします。

減額または旅行開始後の場合、旅行終了日の翌日から起算して30日以内にご返金手続きをいたします。

【支払い期限】 2026年10月23日（金）※期限厳守でお願いいたします

各種参加券等 ダウンロード・ 印刷

3

参加登録完了後、各種参加証や予約確認書、弁当券のダウンロードが可能となります。
A4サイズの用紙に印刷してご持参をお願いいたします。

○全体会参加券 … 11/19（木）全大会受付にご持参ください。

○分科会参加券 … 11/20（金）各分科会会場の受付にご持参ください。

○懇親交流会参加券 … 11/19（木）懇親交流会受付にご持参ください。

○弁当券 … 11/20（金）11:00～各分科会会場の受付にご持参ください。

○予約確認書 … 宿泊をお申し込みの場合、宿泊施設名も表記されます。

※宿泊をお申し込みの方は、ご宿泊当日にホテルのフロントにてお名前をお申し出いただくか、印刷した「予約確認書」をご提示ください。（宿泊券の発送・発行はございません）

大会参加について ※旅行契約ではありません

【1日目】全体会・記念講演

日時 2026年11月19日(木) 12:30～17:10
会場 石川県立音楽堂

【2日目】分科会 ※先着順

日時 2026年11月20日(金) 9:30～16:40
会場 石川県文教会館、金沢市文化ホール

参加費 7,000円 (資料代など) ※石川県内在住、在勤、在学の方は・・・ 全日程参加 5,000円
1日目のみ参加 1,000円
※ご入金後の変更・取消に伴うご返金はいたしかねます 2日目のみ参加 4,000円

懇親交流会について ※旅行契約ではありません

日時 2026年11月19日(木) 18:30～20:30
会場 ホテル日航金沢 4階大宴会場「鶴の間」
会費 10,000円 (立食・飲み物付き／消費税込み)

キャンセル料について		
取消日	11/12まで	11/13以降
懇親交流会	無料	100%

弁当（11/20昼食）について 事前申込みのみ（当日販売はありません） ※旅行契約ではありません

日時 2026年11月20日(金) 引換は11:00～13:30
引換場所 各分科会会場受付
料金 1,200円 (お茶付／消費税込み)

キャンセル料について		
取消日	11/17まで	11/18以降
懇親交流会	無料	100%

宿泊プランについて 事前申込みのみ（当日受付はありません） 募集型企画旅行契約（条件書別途参照）

宿泊設定日 2026年11月19日(木) 泊
最少催行人員 1名
ご旅行代金 含まれるもの：1泊朝食付または食事なし、諸税・サービス料込みの一人様あたりの旅行代金
添乗員 同行いたしません。各施設でのチェックイン等手続きはお客様自身で行っていただきます
部屋タイプ 禁煙シングル（1名1室）バス・トイレ付
【宿泊プランスケジュール】
初日 ご自宅～～（お客様負担）～～各ホテル（泊）
最終日 各ホテル～～（お客様負担）～～ご自宅

宿泊施設名	部屋タイプ	条件	旅行代金	取消日区分		取消料
東横INN金沢駅東口	禁煙シングル	食事なし (無料朝食提供)	8,500円	旅行開始日 の前日から 起算してさか のぼって	21日目に当たる日まで	無料
ガーデンホテル金沢	禁煙シングル	朝食付	9,000円		20日目に当たる日以降 8日目に当たる日まで	旅行代金の20%
ヴィアイン金沢	禁煙シングル	朝食付	11,000円		7日目に当たる日以降 2日目に当たる日まで	旅行代金の30%
金沢マンテンホテル駅前	禁煙シングル	朝食付	11,000円	旅行開始日の前日		旅行代金の40%
ホテルルートイン金沢駅前	禁煙シングル	食事なし (無料朝食提供)	11,000円	旅行開始日当日		旅行代金の50%
				旅行開始後又は無連絡不参加の場合		旅行代金の100%

ご旅行条件(要約) 【国内旅行の場合】

【このパンフレットは旅行業法第12条の4に定める取引条件の説明書面及び同法12条の5に定める契約書面の一部となります。】

詳しい旅行条件につきましては、申込専用サイトを事前に確認のうえ、お申込みください。
尚、「国内募集型企画旅行条件書」は当社ホームページ <https://www.nta.co.jp>からもご覧いただけます。

この旅行は、㈱日本旅行金沢支店(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結していただくことになります。

1. お申込み方法と契約の成立

- (1) 当社の専用webサイトにて必要事項をご入力の上、旅行代金全額を添えてお申込み下さい。旅行代金は、取消料、または違約料の一部又は全部として取り扱います。
- (2) 当社は、電話・郵便・ファクシミリ・インターネットその他の通信手段による旅行契約の予約の申し込みを受け付けます。この場合予約の時点では契約は成立しておらず、契約は、当社が予約の承諾の旨を通知し旅行代金を受領した時に成立いたします。
- (3) 団体、グループ(家族)の代表者を契約責任者として契約の締結及び解除に関する取引を行います。
- (4) 旅行参加に特別な配慮を必要とする場合には旅行のお申し込み時にお申し出下さい。当社は可能な範囲でこれに応じます。

2. 旅行中止の場合

ご参加のお客様が当パンフレットに明示した最少催行人員に満たない場合、当社は旅行の催行を中止する場合があります。この場合、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目に当たる日より前に連絡させていただきます。お預かりしている旅行代金全額をお返します。

3. 旅行代金に含まれるものと及含まれないもの

- (1) パンフレットに記載された日程に明示された交通費、宿泊費、食事代、入場料、消費税等の諸税及び、添乗員同行費用が含まれます。
- (2) 旅行日程に記載のない交通費、空港施設使用料等の諸費用及び個人的性質の諸費用は含まれません。

『国内旅行傷害保険加入のおすすめ』

安心してご旅行いただくため、お客様ご自身で保険をおかけになることをおすすめいたします。

4. 取消料

お客様は、次の取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除することができます。なお、取消日とは、お客様が当社の営業日、営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた日とします。

取消日区分		取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	21日目に当たる日まで	無料
	20日目に当たる日以降8日目に当たる日まで	旅行代金の20%
	7日目に当たる日以降2日目に当たる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日の前日		旅行代金の40%
旅行開始日当日		旅行代金の50%
旅行開始後又は無連絡不参加の場合		旅行代金の100%

(1) お客様のご都合で出発日、コース、宿泊ホテル、人員等を変更される場合にも、旅行代金全額に対して上記の取消料が適用されます。

5. 当社の免責事項

お客様が次に掲げような事由により損害を被られても、当社は責任を負いかねます。ただし、当社は、当社の手配代行者の故意又は過失が証明されたときはこの限りではありません。

① 天災地変、戦乱、暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止 ② 運送・宿泊機関等の事故もしくは火災により発生する損害 ③ 運送・宿泊機関等のサービス提供の中止又はこれらのために生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止 ④ 官公署の命令によつて生じる旅行日程の変更、旅行の中止 ⑤ 自由行動中の事故 ⑥ 食中毒の盗難 ⑦ 運送機関の遅延、不運、スケジュール変更、経路変更など、又は、これらによって生ずる旅行日程の変更もしくは目的地滞在時間の短縮

6. 特別補償

お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により生命・身体または手荷物に被られた一定の損害について、旅行業約款の特別補償規程により、死亡補償金、入院見舞金、通院見舞金、携行品にかかる損害補償金を支払います。

7. 旅程保証

当社は、当パンフレットに記載した契約内容のうち、当社旅行業約款(募集型企画旅行の部第29条別表第二欄)に掲げる重要な変更が生じた場合は、同条に定められた変更補償金をお客様に支払います。尚、当社は、お客様が同意された場合、金銭による変更補償金の支払いに替えて、同等価値以上の物品・サービスの提供をすることがあります。

8. 個人情報の取扱い

(1) ア 当社及び下記「販売店」欄記載の受託旅行業者(以下「販売店」といいます。「当社」及び「販売店」を指して当社といたします。当社はご提供いただいた個人情報について、①お客様との間の連絡のため、②旅行に関して運送・宿泊機関等のサービス手配、提供のため、③旅行に関する諸手続のため、④旅行の安全管理のため、⑤当社の旅行契約上の責任において事故時の費用等を担保する保険手続のため、⑥当社及び当社と提携する企業の商品やサービス、キャンペーン情報の提供、旅行に関する情報提供のため、⑦旅行参加後のご意見やご感想のお願いのため、⑧アンケートのお願いのため、⑨特典サービス提供のため、⑩統計資料作成のため、に利用させていただきます。イ 当社は取得した購買履歴やWEBでの閲覧履歴等の情報を分析して、当社及び当社と提携する企業の商品やサービス、キャンペーン情報のご案内及び広告の表示のために利用させていただきます。

(2) 上記1. アの②③④の目的を達成するため、お客様の氏名、住所、電話番号、クレジットカード情報、搭乗便名等を輸送・宿泊機関、土産物店、当該クレジットカード会社等に書類または電子データにより、提供することがあります。なお、土産物店への個人情報の提供の停止をご希望される場合は、当該するパンフレットに記載する旅行申込窓口宛にこの出発の10日前までに申し出下さい。(注: 10日前が土・日・祝の場合はその前日までにお申し出下さい)

(3) 当社及び当社グループ各社はお客様からご提供いただいた個人情報のうち、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先を、各社の営業案内、キャンペーン等のご案内のために、共同して利用させていただきます。共同利用する個人情報、は、当社個人情報保護管理責任者が責任を持って管理します。なお当社グループ会社の名称は当社のホームページ(<https://www.nta.co.jp>)のプライバシーポリシーをご参照下さい。

(4) 当社は個人情報の取扱いを委託することがあります。

(5) お客様は、当社の保有する個人データに対して開示、訂正、削除、利用停止等の請求を行うことができます。問い合わせ窓口は訂正のみ販売店、それ以外はお客様相談室となります。

(6) 一部の任意記入項目にご記入いただけない場合、未記入の項目に関連するサービスについては、適切に提供できないことがあります。個人情報保護管理者(お客様相談室)

問い合わせ先窓口: 本社お客様相談室
電話: 03-6895-7883 FAX: 03-6895-7833
E-Mail: sodan_shitsu@nta.co.jp

営業時間: 平日 09:45~17:45(土・日・祝・曜、年末年始休業)

9. 旅行条件の基準

このパンフレットに記載の旅行日程等の旅行条件は、2026年7月1日現在を基準としています。

【お問合せ・お申込み先】

第112回全国図書館大会石川大会 デスク (株式会社日本旅行 北陸営業統括部 金沢支店内)

TEL: 076-293-6841 FAX: 076-293-6846

E-mail: 112th-library@nta.co.jp

営業時間: 9:30~17:30(土日祝休)

担当: 徳谷・青葉

総合旅行業務取扱管理者: 青葉 耕介

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を扱う支店(営業所)での取引の責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

【旅行企画・実施】

株式会社日本旅行 北陸営業統括部 金沢支店

観光庁長官登録旅行業第2号/一般社団法人日本旅行業協会正会員
石川県金沢市広岡3-3-77 JR金沢駅西第一NKビル2階



ボンド保証会員
日本旅行業協会正会員



旅行業公正取引
協議会 会員

【西日本26-113】